

科目名	デザイン研究 2							年度	2026
英語科目名	Design study 2							学期	前期
学科・学年	デザイン科 グラフィックデザイン専攻 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	山路康隆		教員の実務経験	有	実務経験の職種	グラフィックデザイナー			
【科目の目的】 さまざまな視点から、発想力、表現力を磨く。									
【科目の概要】 課題に沿って制作したデザインをプレゼンし、教員が講評。もしくは学生同士で講評する。									
【到達目標】 1. 物事を観察し、世の中に潜んでいるデザインの可能性に気付く事。 2. 自分らしい表現方法を模索し、オリジナリティを発見する事。 3. 自分以外の視点から情報をインプットし、アウトプットの質と幅を拡げる事。									
【授業の注意点】 授業時限数の4分の3以上出席しない者は課題提出と評価をうけることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	要望に応える制作技術を理解し、十分に活用して丁寧に制作している	要望に応える制作技術を理解し、丁寧に制作している	要望に応える制作技術を理解し、制作している	要望に応える制作技術を理解しているが、形として不十分	要望に応える制作技術の理解が不足している				
到達目標 B	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った効果的な表現ができる	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った表現ができる	課題条件に合わせた思考と表現ができる	課題条件に合わせた思考はしているが表現が不十分	課題条件の理解が不足し、思考と表現が不十分				
到達目標 C	多くのアイデアをもとに、リサーチや内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに、デザイン内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに制作はできるが、デザイン内容の修正が不十分	アイデア、デザイン内容の検証、修正が不十分				
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない				
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない				
【教科書】 参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 最終課題・研究内容と発表 80% 内容を総合的に評価 平常点 20% 積極的な授業参加と授業態度によって評価									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デザイン研究 2			年度	2026
英語表記		Design study 2			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	授業内容や目的について	1 ヒアリング	授業内容、目的を理解することができる	2	
2	課題①	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 デザインとは何か	デザインを考察することができる	2	
3	課題②	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 文字の観察	タイポグラフィを考察することができる	2	
4	課題③	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 気づきに気づく	よく考察することができる	2	
5	課題④	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 モノの価値を変える	価値を考察することができる	2	
6	課題⑤	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 現実を切り取る	トリミングを考察することができる	2	
7	課題⑥	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 視点の拡大	視点を考察することができる	2	
8	課題⑦	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 比較検討	見比べて考察することができる	2	
9	課題⑧	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 自然と不自然	当り前を考察することができる	2	
10	課題⑨	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 見えないものの可視化	伝達方法を考察することができる	2	
11	課題⑩	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 立場の逆転	相手の立場で考察することができる	2	
12	課題⑪	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 見立てる	例えを考察することができる	2	
13	課題⑫	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 表現の拡張	自分らしさを考察することができる	2	
14	課題⑬	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 社会と環境と課題解決	SDG s を考察することができる	2	
15	課題⑭	デザイン、プレゼンテーション、グループディスカッション、講評	1 新しいデザイン	新しいを考察することができる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等